

まなびい 8



最上教育事務所社会教育課 発行 【お問合せ：Tel 0233-29-1440】

最上地区市町村社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会 (兼) 社会教育主事有資格者等研修会

11月13日(木)に、ゆめりあを会場に36名の参加を得て表題の研修会を開催しました。

当日は、舟形町の集落支援員の有路正文氏、大蔵村の合海田植え踊り保存会の松田与市氏、真室川町の一般社団法人雪と暮らし舎理事の梶村勢至氏より、日頃の実践について御紹介いただきました。また、事例発表者と山形県教育局生涯教育・学習振興課課長補佐の木村征子氏がパネラーとなり、山形大学地域教育文化学部教授の安藤耕己氏からコーディネートいただき、「地域資源の掘り起こしと住民との協働による新たなコミュニティづくりを考える」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

始めに、「地域の賑わいとふれあいを！」について、有路正文氏より発表いただきました。担当地区内外との交流を活性化させるための取り組みについて、毎月発行している月刊誌を通して紹介いただきました。また、地域の魅力に気づいてもらうための様々な企画やイベントを通して、人と人をつないでいる活動の様子や思いについて、発表いただきました。



続いて、「合海田植え踊りの伝承と地域の活性化」について、松田与市氏より発表いただきました。保存会の活動や子どもタウエーズの活動を通じた伝承と地域コミュニティづくりに向けた取り組みについて紹介いただきました。また、子どもタウエーズの活動を通して郷土愛の育成を目指した指導については、強い使命感を持って取り組まれている思いを話されました。

次に、「最上地域における移住の現状と地域資源活用の可能性」について、梶村勢至氏より発表いただきました。移住支援の取り組みや、企業版関係人口の創出に向けた、企業と町内各地区をつなぐ取り組みについて紹介いただきました。また、真室川町内の現状から考えた課題解決に向けた様々な活動と、町内の森林資源や伝承野菜を活用した新たな可能性について、発表いただきました。



木村征子氏より、小さい頃に真室川町内で過ごした夏の出来事が、大人になってからも忘れない郷土の思い出となっていて、今の子どもたちにも私と同じように、子どもの頃の様々な体験が強い記憶としてその人に残り、郷土愛につながっていると話いただきました。また、第7次山形県教育振興計画の方針やアクションにも触れながら、ふるさとの魅力への気づきや郷土愛の醸成、子どもたちへ大人のかっこいい姿に触れさせたい等の思いを話されました。

安藤耕己氏からは、地域資源とは、「地域内に存在する資源であり、地域内の人間活動利用可能な(あるいは利用されている)、有形、無形のあらゆる要素」と環境省が発行している資料を基に説明いただきました。また、そのような地域資源を活用した取り組みの可能性と、人と人とが触れ合う活動を通じたコミュニティづくりに向け、特に人自体が資源であり、リーダーや世話役となって地域に関わり合いながら人材育成を進めていくことの大切さについてもお話いただきました。



参加者より、「人と人をつなぐ広報誌を継続させ、住民が生き生きと過ごすことができる地域づくりを担ってくださっていると感じました。」「ぜひ地域の田植え踊りを守り、大人や子どもたちの活動を支援していただけることを期待しています。」「地元にいても気づかずにいる魅力を町外へ発信してくださることで、地域の魅力に付加価値がつくことにつながると感じました。」等の声が多く寄せられました。



第2回最上地区放課後子ども指導者等研修会



10月30日(木)に新庄市山屋セミナーハウスを会場に上記研修会を開催しました。さわやかな秋晴れの下、参加者は4つの内容から選択した2つの研修に取り組みました。

「楽しいリズムであそぼう」では、NPO 法人さけがわ友遊クラブの伊藤淳子氏より、日ごろから身体の動きや見る活動に気をつけることやダンスをつくる活動を紹介いただきました。「琥珀糖作りと情報交換」では、キッズキッチンインストラクターの和田和子氏より、琥珀糖作りを紹介いただき、その後情報交換を行いました。「この時期ならではの自然体験」では、遊学の森・森の案内人である矢口末吉氏より、つるや木の実を材料としたリースやツリーづくり工作などを行いました。「救急救命・けがへの対応」では、最上広域市町村圏事務組合消防本部の山下純氏より、救命措置を学びました。参加者からは、「リズム遊びは、動体視力が運動能力につながるということが印象的でした。」、「琥珀糖作りでは、様々な色のシロップを使ってきれいな色を作る事ができ、子どもたちも実験感覚で楽しむのではないかと感じました。」、「自然体験では、栗やどんぐり、松ぼっくりなど身近なものでキーホルダーやリースづくりがとても楽しかったです。」、「久しぶりにAEDの使い方を実際に学べてよかったです。講師の先生から実際体験したことを聞くことができて勉強になりました。」等、たくさんの感想をいただきました。来年度も、参加者の実践につながるような研修を実施していきたいです。

家庭教育支援フォーラム②



(兼) 家庭教育推進協議会研修会

11月28日(木)に家庭教育支援フォーラムを開催しました。1回目のフォーラムでの減塩についての講演を受け、2回目のフォーラムでは、実際に減塩メニューを調理し試食しました。

はじめに、最上保健所地域健康福祉課 高橋さゆり管理栄養士から最上地区の健康課題についてお話いただきました。脳血管疾患や、がんがほかの地域に比べて多いことから、その原因となる塩分摂取量を減らすことが重要であるとのことでした。そこで、塩分を控えてもおいしく食べられる献立を紹介いただき、栄養ケアもがみ D-nya(だーにゃ)のみなさんの指導のもと、みんなで調理をしました。

メニューは、キーマカレーとポテトサラダでした。カレーは、香辛料の香りで塩分控え目でも満足な味付けにし、ポテトサラダはマヨネーズを使わずに牛乳や酢などを使うことで塩分も脂質も控えました。

参加者は、普段の食生活を見直し、健康について改めて考えるきっかけになったようです。

食育をテーマに行う家庭教育支援に関する講座などでもおすめの内容です。



12月の事業予定

2日 (火)	子どもの読書活動推進研修会 (ゆめりあ)
12日 (金)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金 帳簿予備点検① (真室川町・金山町)
14日 (日)	最上地区青少年育成懇談会 (雪の里情報館) YYボランティア交流会企画運営委員会 (雪の里情報館)
15日 (月)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金 帳簿予備点検② (大蔵村・鮭川村)
17日 (水)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金 帳簿予備点検③ (戸沢村・新庄市)
18日 (木)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金 帳簿予備点検④ (最上町・舟形町)



最上教育事務所 社会教育課ホームページ

最上教育事務所

検索

過去の「まなびい8」も
見られます。



最上総合支庁イメージキャラクター
モガミル

社会教育事業に関する情報

- ・最上の社会教育の重点
- ・やまがた子育て5か条
- ・生涯学習 生涯スポーツ
- ・ふるさと塾出前講座
- ・地区生涯学習推進大会
- ・自作視聴覚教材コンクール
- ・地区ボランティア交流会 ほか